

2008 年 5 月 27 日



セブン-イレブン全店でプラスチック原料を年間に約 570t 削減 弁当の包装形態を“ラップ包装”から『テープ止め』に変更

～5/29（木）より北海道地区へ順次拡大～

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者 <COO> 山口 俊郎）は、弁当の包装形態を“ラップ包装”から“テープ止め”に順次変更しており、このたび、2008 年 5 月 29 日（木）より北海道地区へ拡大してまいります。

現在、弁当における包装形態の変更は、全国において約 5,000 店舗まで導入が進んでおります。今回拡大する北海道においては、まず、函館・北見・帯広・釧路地区より導入し、6 月 6 日（金）に道内全店への展開が終了する予定です。

包装形態変更の取り組みは、環境負荷の低減および弁当の見た目や選びやすさの向上を目的に、2007 年 3 月よりテストを重ねてまいりました。配送中の荷崩れや売場での安定陳列等に対応するため、容器の変更やテープの改善を行った上で、このたびの弁当簡易包装の実現にいたしました。

これにより、プラスチック原料を年間にセブン-イレブン全店で約 570t 削減することが可能になり、レジ袋に換算すると現使用量の約 5%削減と同等の効果が見込まれることとなります。

セブン-イレブン・ジャパンでは、環境問題対策等の社会的責任を遂行するとともに、安全・安心を第一とした商品開発を推進してまいります。



<変更前>

ラップ（フルシュリンクラップ）包装



<変更後>

テープ止め のみ

＜新包装形態弁当について＞

◇道内展開スケジュール

5/29（木）	函館・北見・帯広・釧路	238 店	
6/3（火）	旭川	111 店	
6/6（金）	札幌	465 店	合計 814 店

※2009 年 2 月迄にセブン-イレブン全店での展開を予定。

◇内 容 弁当の包装形態を、現状の“ラップ（フルシュリンクラップ）包装”から『テープ止め』へ変更

◇目 的 ○環境負荷を低減
○弁当の見易さ、選びやすさとともに、手作り感、できたて感を訴求
○“コンビニ弁当はゴミが多い”というお客様のイメージを改善

◇対応事項 ①**フタや容器（受皿部分）の構造を改良**
⇒フタと容器のかみ合わせ部分の構造を改良し、密閉性を向上。
また、フタと容器を固定するテープの見直しも合わせて実施。

②**弁当容器のフタと底面の形状を変更**
⇒容器のフタと底面に凸凹をつけ、上下がかみ合うようにすることで、
配送効率と売場での陳列を改善。

③**配送時の工夫**
⇒弁当やおにぎり等、弁当配送用ケースへの詰め方を工夫し、
安定感のある配送を実施

◇環境負荷低減

○今回の取り組みにより年間約 570t のプラスチック原料を削減
レジ袋 5%削減と同一効果に

以 上